

## JSSI（日本免震構造協会）免震構造施工標準に対応した試験のご案内

免震建築物では、一般建築物には適用されない免震部材の製作管理や設置等の工程があります。当該工程のなかで、コンクリート等の窯業系資材を用いるものに「ベースプレートの下部重点」があり、JSSI（日本免震構造協会）による指針においては、大別して次にあげる工法が示されています。

### ・コンクリートの充填工法

基礎天端と柱脚ベースプレートとの空隙を、コンクリートを用いて充填する工法。

一方の選択肢である「グラウト充填工法」にくらべて、充填に用いる材料にかかる費用を抑制することが可能であるが、空隙部の密実性を確保するためには事前の原寸実験での評価が必要となります。

### ・グラウト充填工法

基礎天端と柱脚ベースプレートとの空隙を、無収縮モルタル等のグラウト材を用いて充填する工法。

空隙部の密実性を確保することが比較的容易な工法であるが、充填に用いる材料の費用が高額になる傾向が大きく、施工対象部位が多ければ工事予算における存在感はかなりのものとなります。

わたくしたちエス・オー・ピーでは、この選択肢のうち「コンクリート充填工法」において、工事施工者様の工程内管理に貢献することを念頭とし、つぎのようなかたちでのお手伝いをご提案させていただくことが可能となりました。

「JSSI 免震構造施工標準」による要求事項より

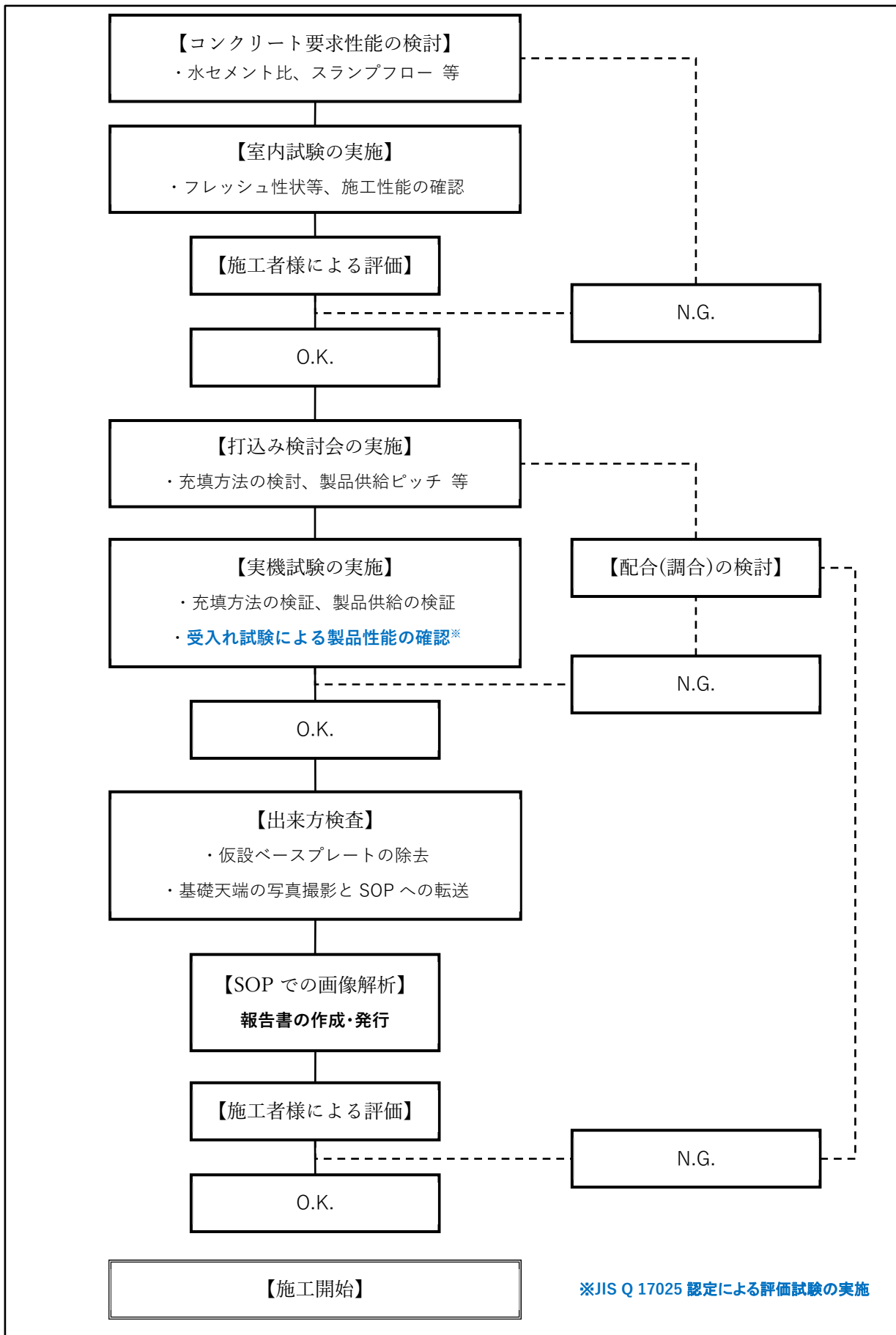
1. 製造者との協議の上、製造者が認定<sup>※1</sup>を取得している複数の配合(調合)から、充填性を満足する配合を検討し、施工者様に決定していただく提案の実施。
2. 項目1.により決定した配合(調合)について「室内試験」「試験施工による充填性の確認」を実施し、その性状についての評価<sup>※2</sup>判定<sup>※3</sup>を施工者様に決定していただく提案の実施。

※1 高強度コンクリート、高流動コンクリート等で、建築基準法第37条二号の規定に適合する製品

※2 JIS Q 17025 に適合した評価試験によるフレッシュコンクリートの測定試験の実施

※3 JSSI 免震構造施工標準にて要求された指針に適合した評価判定試験の実施と報告書の作成

コンクリート充填工法を実施するにあたり、実施工までの工程フローの基本モデルは次のようなものとなります。



画像解析による充填性の判定については、施工者様による基礎天端部出来方の写真データを弊社まで転送していただき、該当データについて画像解析を実施させていただいたデータを用いて「JSSI免震構造施工標準」に基づいた評価を実施させていただきます。

画像データの受領から報告書の作成までは次のような工程となり、2日間の日数をいただいております。

